

回作品の出し方

- ▼硬筆部＝B5判（二五七mm×一八二mm）以下
下の紙に書いて下さい。用具は自由です。
(黒色に限る)
- ▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。（筆ペン可）
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。



奥村憲照先生書

資父事君
曰嚴與敬

父に住えるように主君に仕え、
ここに嚴かにして敬う。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・
硬筆規定の成績（毛筆の場合は毛筆漢字の
成績）を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに
掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

千字文

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であります、初学者の教科書でもあった。

梁の武帝（在位五〇二～五四九）の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかりと学びましょう。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六（一九八一）年四月のことです。

一般部規定課題

締切り 2月19日(必着)

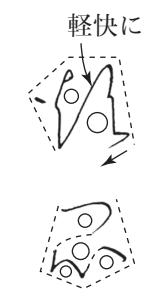
準初段から六段まで

[解説]

[読み] 煩悶せざる青年は

人生初期において

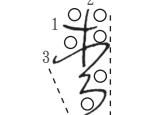
足らざる所あり



軽快に



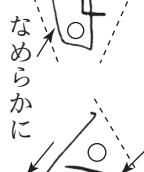
なめらかに



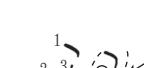
足を



曲線の角度



なめらかに



足を



足を

足を

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

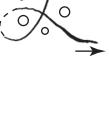
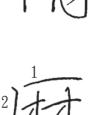
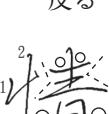
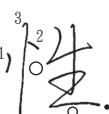
人生初狂におひきあひ

お尾郷翠光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

[解説]



新入から1級まで

	愛	女
	情	性
	の	の
	歴	全
	アービング	生
	アービング	涯
	アービング	は

ふる古田瑞苑書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆3月課題予告(楷書)

二つ折りの恋文が

花の番地を
捜している

★女性の:(書体=行書)
アービング(一七八三~一八五九)
アメリカの小説家
彼の作品である「スケッチ・ブック」の中に出てくる言葉です。
「子供の頃は両親や兄弟姉妹を愛し、結婚後は夫を愛し、さらに子や孫にまで心からの愛をそそぐ」というのが女性の自然な性情である。その意味で、女性は愛情の歴史といえるであろう」

★煩悶せざる:(書体=行草または草書)
長谷川如是閑(一八七五~一九六九)
明治から昭和時代の評論家
長谷川如是閑は自由主義の立場から、日本の国家、社会、文化について多くの論文を書きました。
このことばは、青春時代に自分の生き方について悩みを持たない者は、どこか欠けたところがあるという、皮肉をこめた痛烈な批判であります。

◆3月課題予告(行書)

希望は

強い勇気であり
新たな意志である

▼教範・書範=楷書
▼師範=行草または草書

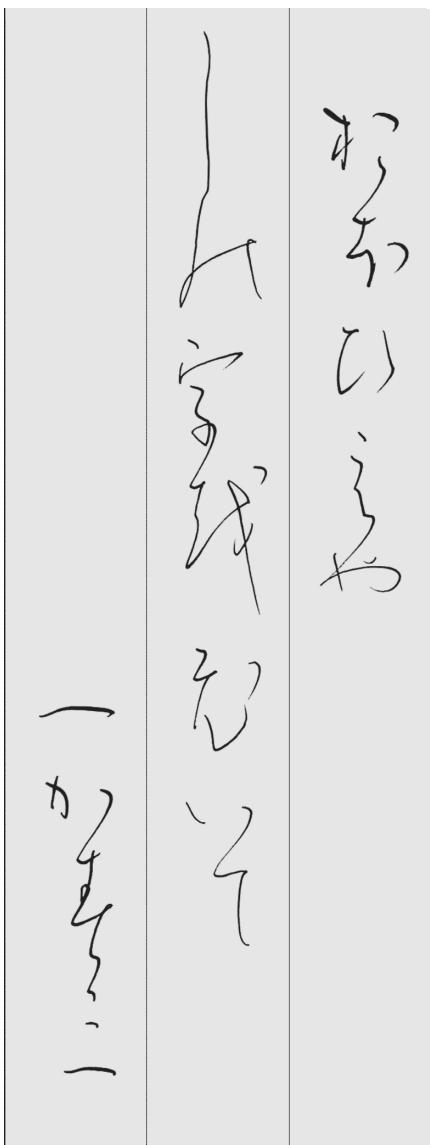
一般部かな課題

締切り 2月19日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

於本ひえ
能越飛
大比叡やしの字を引て一霞
か春三



いし がき しゅう か
石 垣 秀 華 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

◆3月課題予告
飛ひ
入り
かかる日も糸ゆふの名残かな



[古筆参考]

〔解説〕筆圧の強弱による太・細の線と、大小の文字を組み合わせて、流れよく書いてほしい。筆圧は、一の句と三の句のはじめで加えた。

〔大意〕比叡山に一休の引いた「し」の字を横に引いて、横長く霞が一筋たなびいているの意。○しの字を引て一平かなのしの字の形、即ち一直線に縦に引くのを横一文字にたなびく霞の形容にあてた。



いし がき しゅう か
石 垣 秀 華 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

〔出典〕桃青、江戸廣小路(六百番発
句合)延宝五年。
〔作者〕松尾芭蕉。正保元年(一六四
四)~元禄七年(一六九四)俳人。名
は宗房、別号は桃青・風羅坊。
〔大意〕比叡山に一休の引いた「し」
の字を横に引いて、横長く霞が一筋た
なびいているの意。○しの字を引て一
平かなのしの字の形、即ち一直線に
縦に引くのを横一文字にたなびく霞の
形容にあてた。

一般部かな課題

師範 · 教範 · 書範

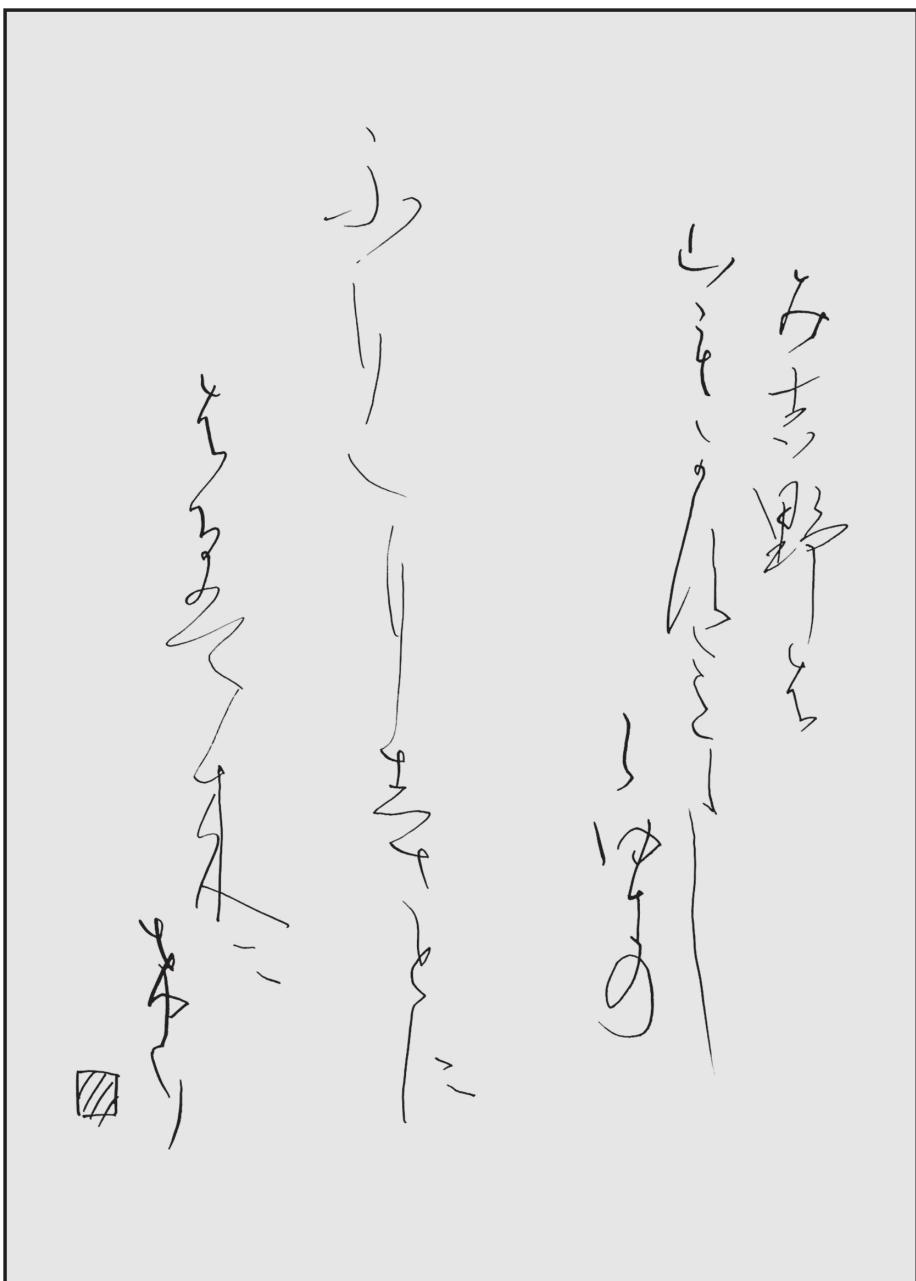
締切り
二月十九日（必着）

大迫秀湖書

み吉野は山もかすみて白雪の
ふりにし里に春はきにけり

[歌意] 吉野の里はもとより山も霞んで、ついこの間まで白雪の降っていた古里にも、春は訪れたよ。

〔出典〕 新古今和歌集（新潮日本古典集成）



〔古筆參考〕

者はももももも
毛ももももも
須はももももも
支耳にににに
志しにににに
盤にににに

◆3月課題予告

A vertical calligraphic work in Japanese ink on paper. The text is arranged in three columns. The first column contains the title '月夜の春みゆるにぼろおぼろ' (Waka Poem). The second column contains the poem itself: 'あさみどり花もひとつに霞みつゝ
おぼろにみゆる春の夜の月'. The third column contains the signature '芭翁筆' (Basho's signature).

あさみどり花もひとつに霞みつゝ
おぼろにみゆる春の夜の月

締切り 2月19日(必着)

庭に咲いた白梅を窓外に眺めつゝ
お便りしています。花は青磁の
花瓶に一枝を挿し、淡墨のみで
色紙に描いてみようと思います。
拙作が、ご高見に上ります。
ご批評賜りたく存じます。

■ 両課題とも、書体変換は自由です。

(黒色に限る)

作品の出し方

※手本は水性ボールペン使用

庭に咲いた白梅を窓外に眺めつゝ
お便りしています。花は青磁の
花瓶に一枝を挿し、淡墨のみで
色紙に描いてみようと思います。
拙作が、ご高見に上ります。
ご批評賜りたく存じます。

横書き課題

おか 岡 じま 嶋 けい 桂 せん 川 書

京都伏見の稻荷神社は、2月最初

の午の日、初午参拝客で賀わう。

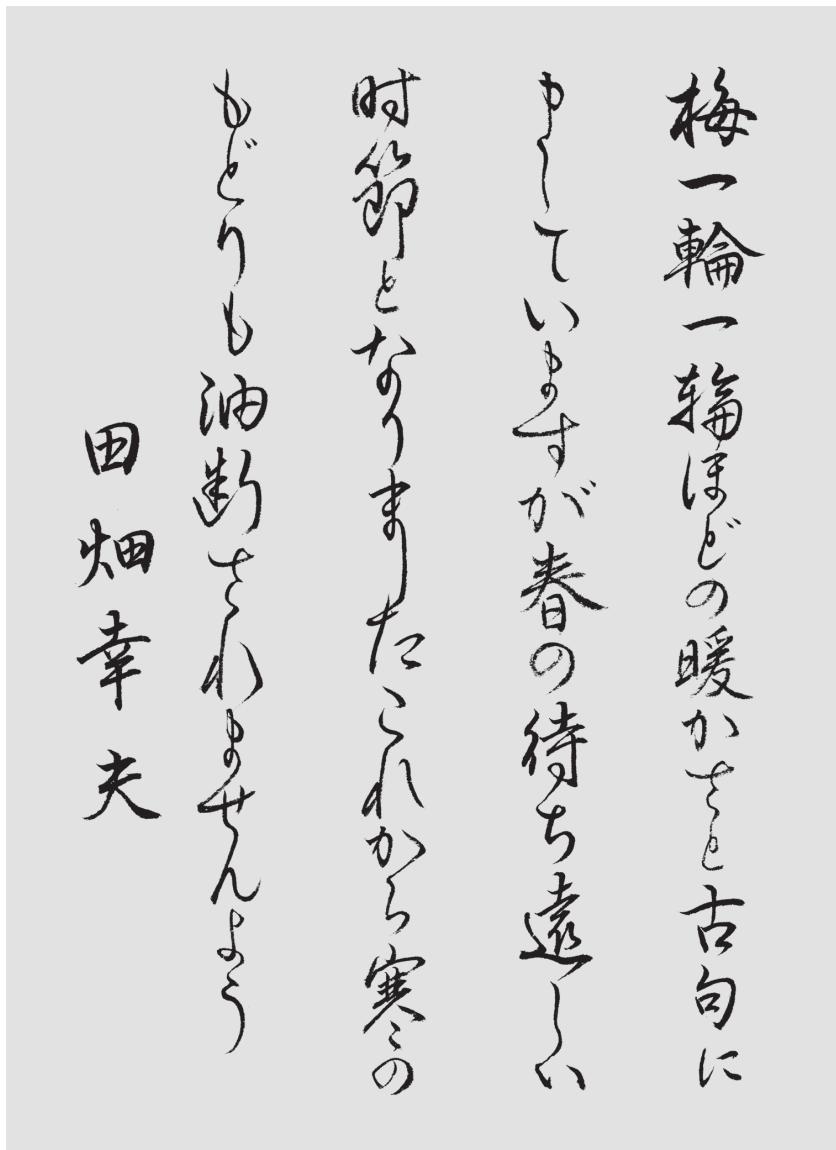
三重県桑名市

氏

名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆細字課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

伊藤香書

〔条幅解説〕

条幅に限らず、書作する場合には字形に重点を置かれる方が多いと推察いたしますが、それ以外にも大切なことがあります。それは文字の配置によって生じる行間の余白です。文字を山に例えるならば、行間の余白は渓谷を流れる水となります。行間の余白の流れにも意識して書作してみましょう。

梅一輪一輪ほどの暖かさと古句に

申していますが春の待ち遠しい
時節となりました これから寒の

もどりも油断されませんよう

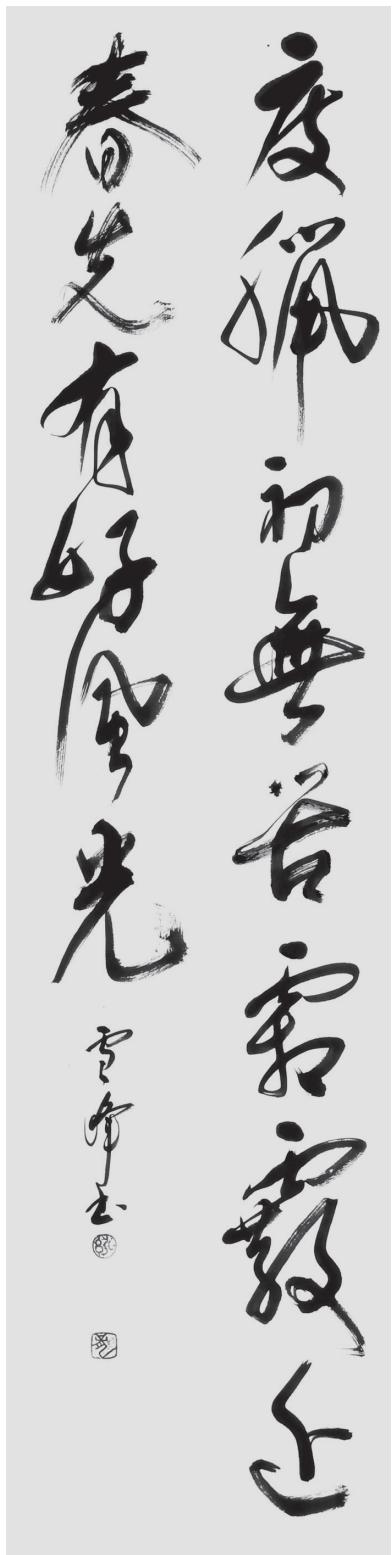
(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
■ 成績(天位5等)は、評価により毎月かわります。

一般部毛筆条幅課題



度臘初無苦霜霰

近春先有好風光

白樂天

〔大意〕十二月を過ぎれば初めて霜霰に苦しむことなく、春に迫ります。まず好い景色があります。

初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

締切り 二月十九日(必着) 半切(136 cm × 35 cm)

新井龍峰書

一般部毛筆漢字課題

締切り 2月19日(必着)

新入から1級まで（行書）

清
水
翠
芳
書

寒窓夢不成
かんそうゆめならず

〔大意〕冬の寒い窓の下に寝ているが、なかなか夢が結ばれぬ。

寒窓夢不成

木新
春山草

◆3月課題予告（楷書）

成夢寒窓不

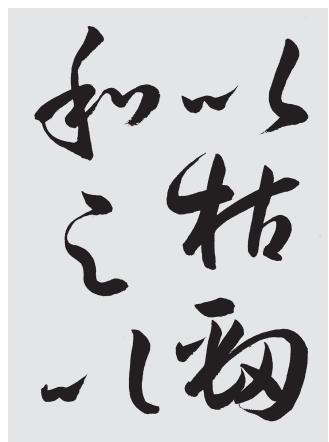
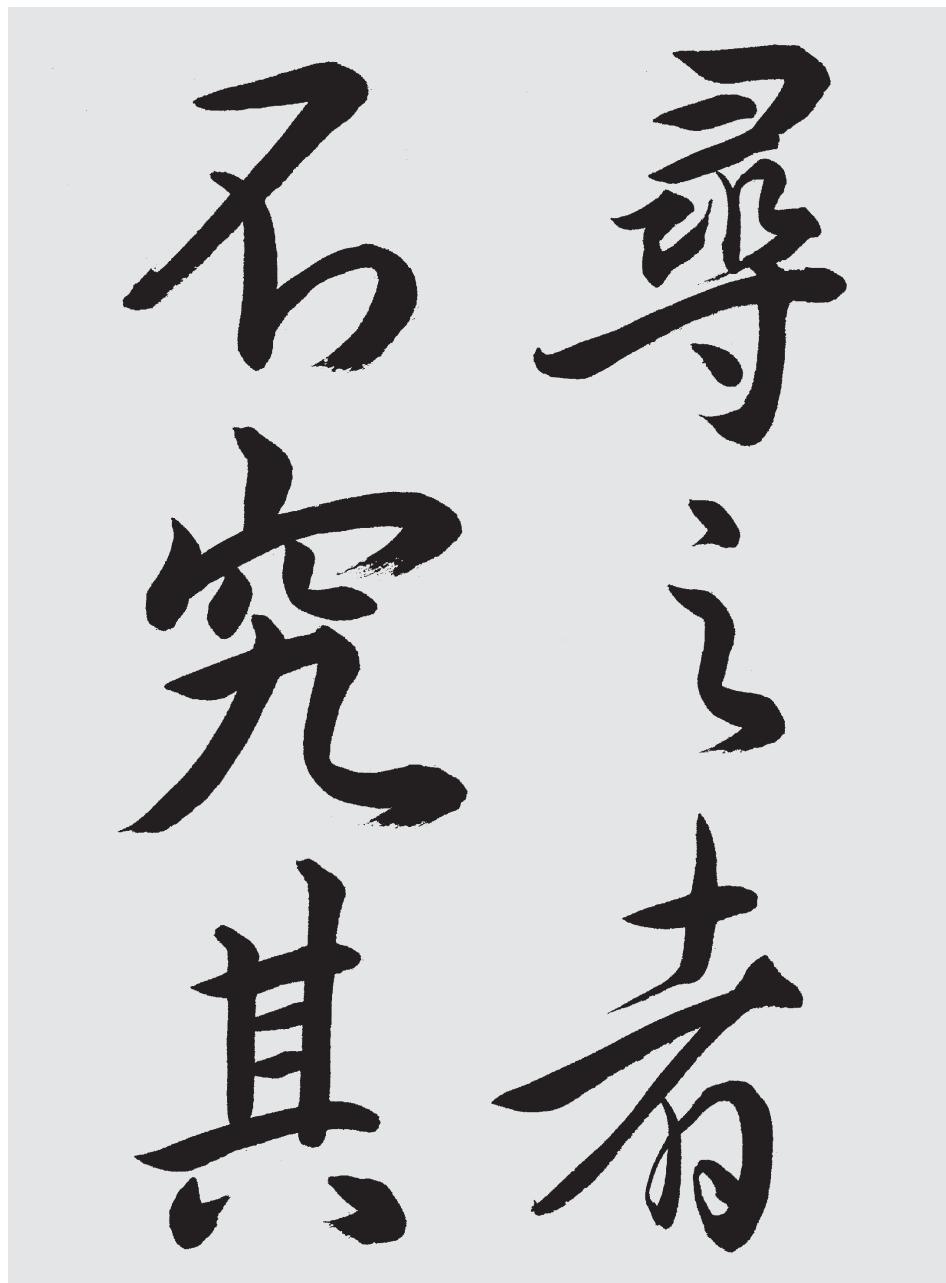
〔解説〕

一般部毛筆漢字課題

締切り 2月19日(必着)

準初段から師範まで

尋之者不究其



◆3月課題予告

※文献によって字体が異なる場合があります。



(解説)

[出典] 集字聖教序(六七二)
〔筆者〕 王羲之法書より集字
〔読み〕 之を尋ねる者も、其の(みなもと)を)究めず。

一般部毛筆かな課題

締切り 2月19日(必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

古筆參考

志士の事

伊い

者は都

支き

◆3月課題予告

かわらばん

枯枝に湧く白雲や百千鳥

かくとうじ

あか
つはき志呂伊都者支
かわひがし

河東碧梧桐

紅白一本の椿から花がそれぞれ地上にかたまつて散っている状態を写生したものの。春も深まつた真昼の庭前の静けさが感じられる。

- 8 -

一般部毛筆かな課題

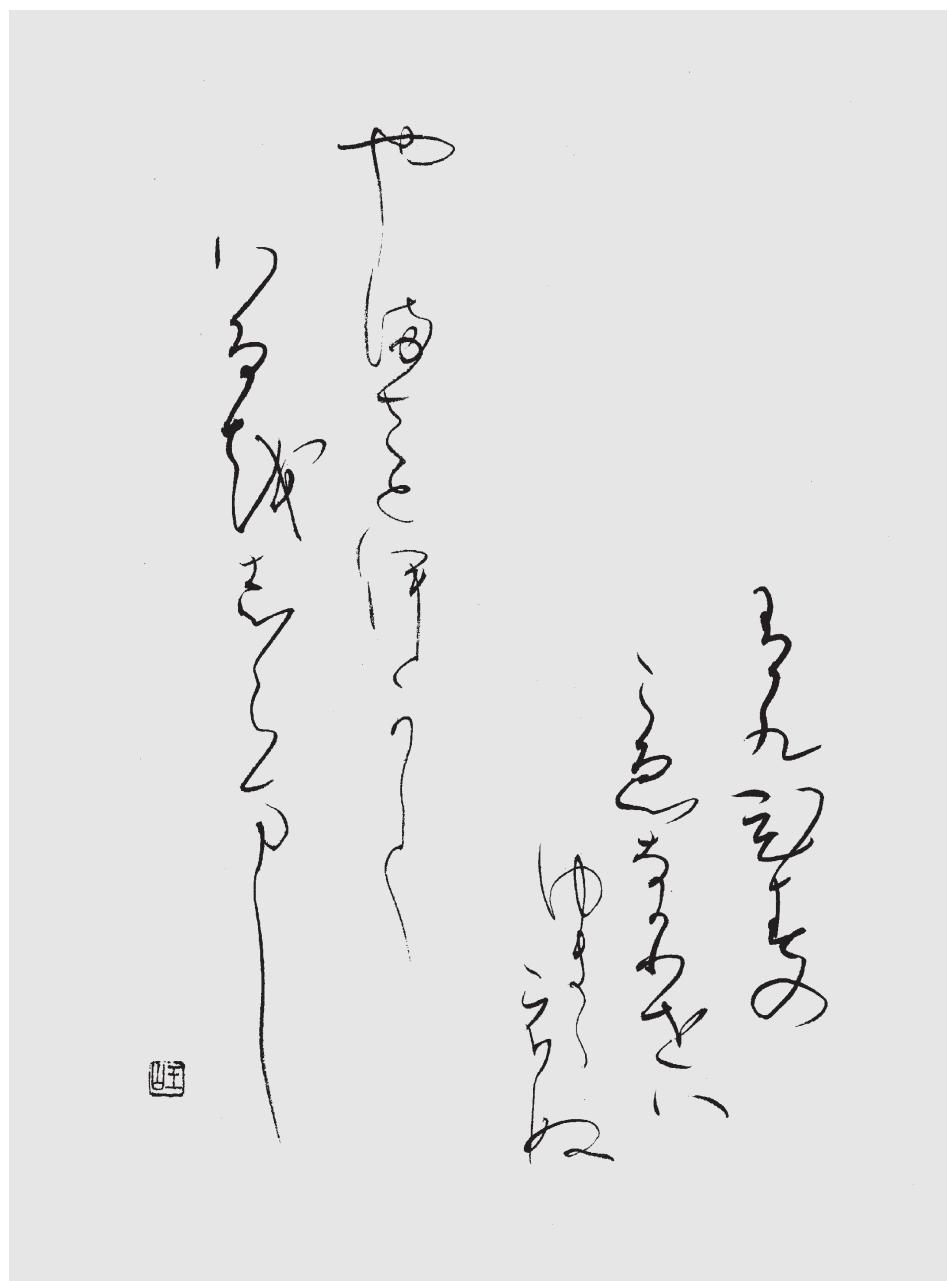
締切り 2月19日(必着)

準初段から師範まで

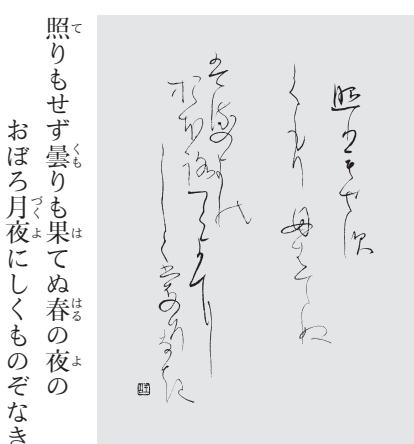
浅井機山先生書

有九飛春
うぐひすの声な
かりせば雪きえぬ
山里いかで春を知らまし
藤原朝忠

〔歌意〕
鶯の声が聞こえなかったら、この雪のまだ
消えぬ山里では、どうして春と知ることが
できようか、春になったことがわかりはし
ない。



◆3月課題予告

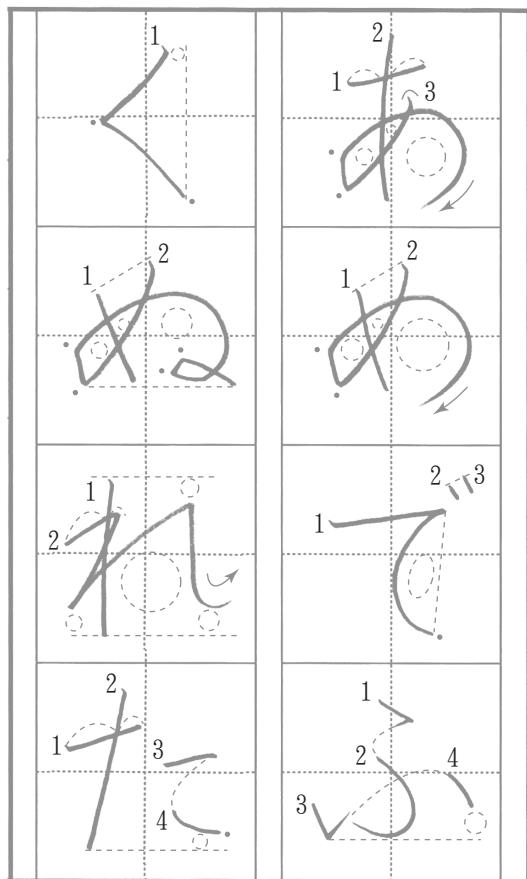


照りもせず曇りも果てぬ春の夜の
おぼろ月夜にしくものぞなき

きょういくふこうひつかだい
教育部硬筆課題

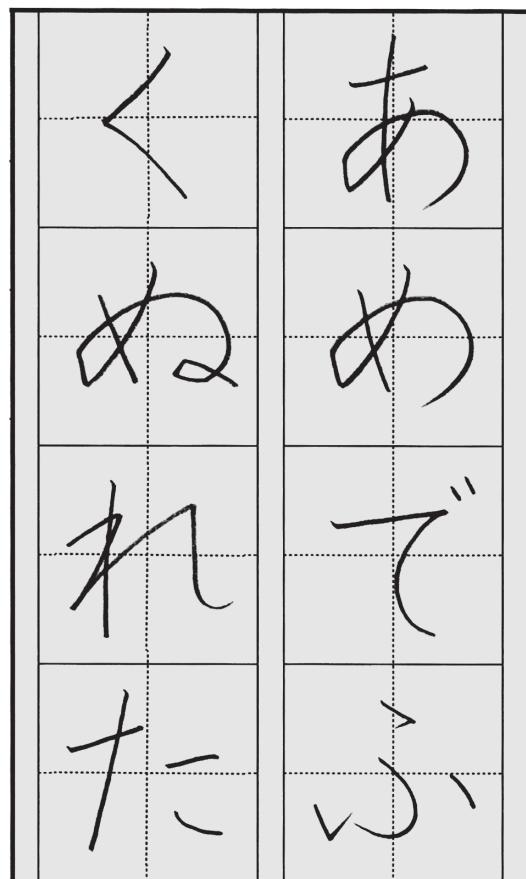
しめきり 2月19日(必着)

<ようぐ> 自由 (黒色にかぎる)



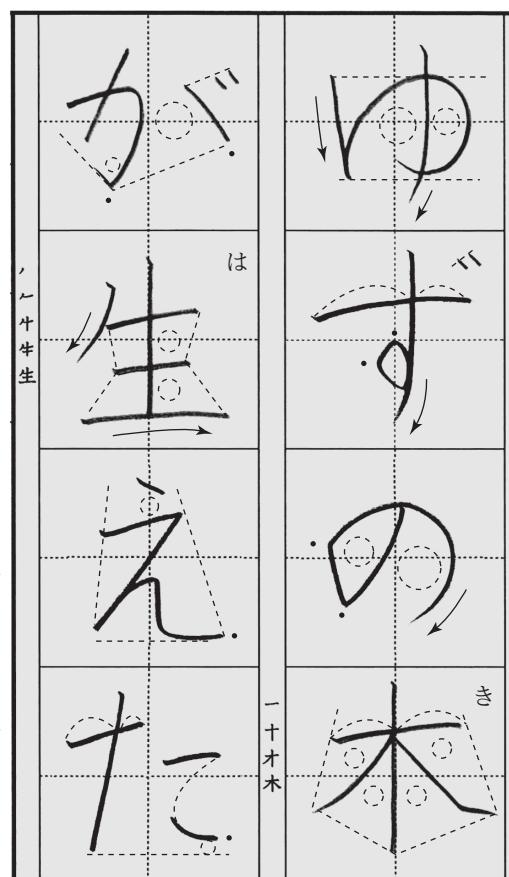
◆ひらがなトレーニング (なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よう
う
年

幼年～小三年まで
三宅容玉書



新入～1級

(注)えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

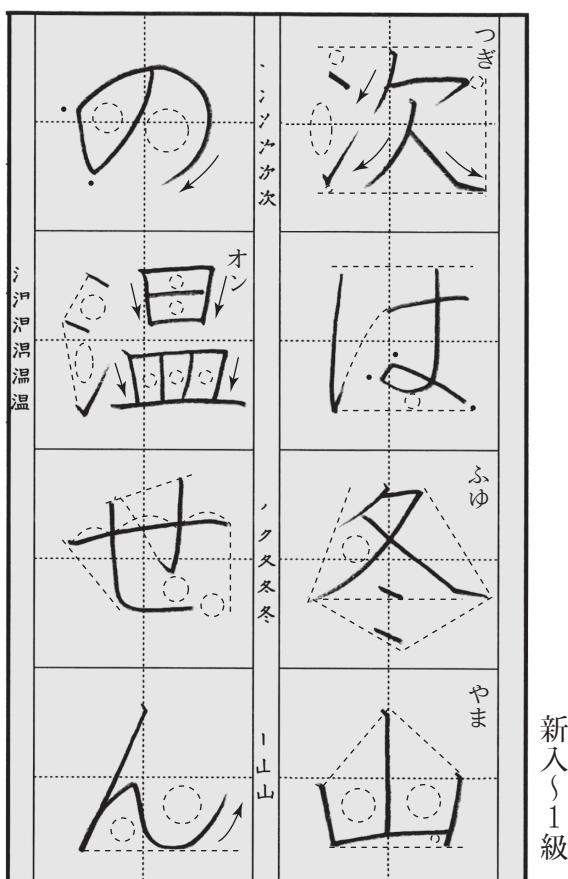
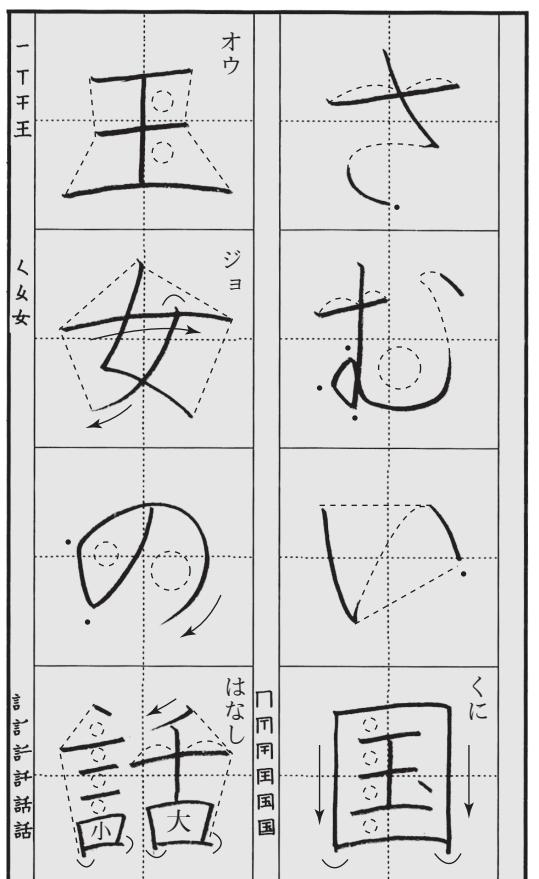


小一
年

準初段以上

きょういくぶこうひつかだい 教育部硬筆課題

しめきり 2月19日(必着)

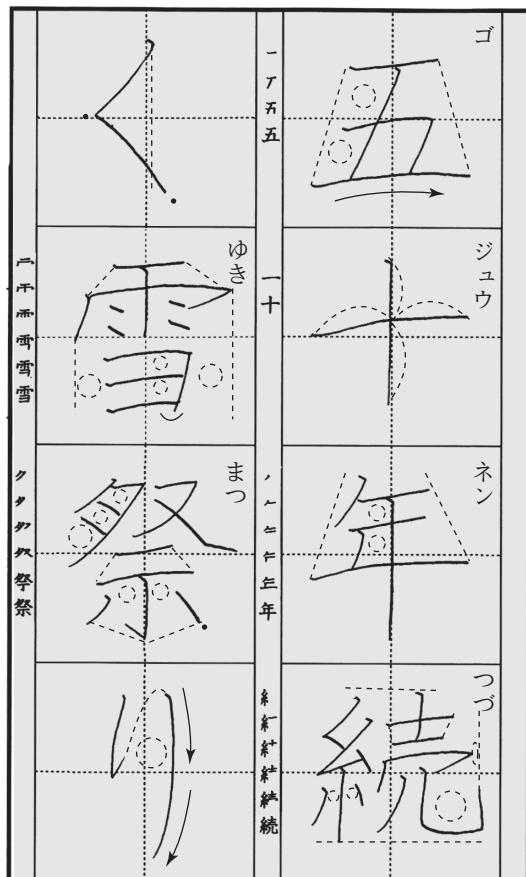


(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

教育部硬筆課題

しめきり 2月19日(必着)

〈用具〉自由(黒色に限る)



新入～1級

の	年	明
雪	続	日
祭	く	は
り	地	五
た	元	十

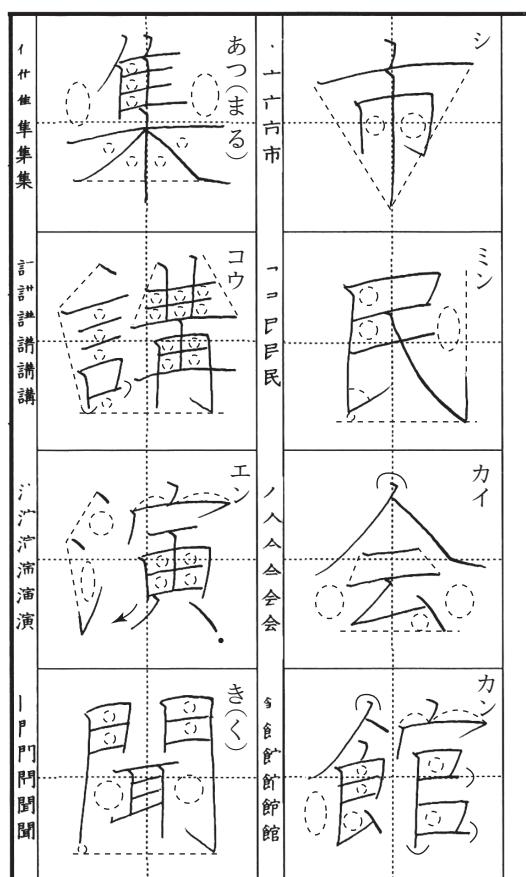
小四年

準初段以上

小五年

(全員)

小四年以上
前
嶮
玉
華
書



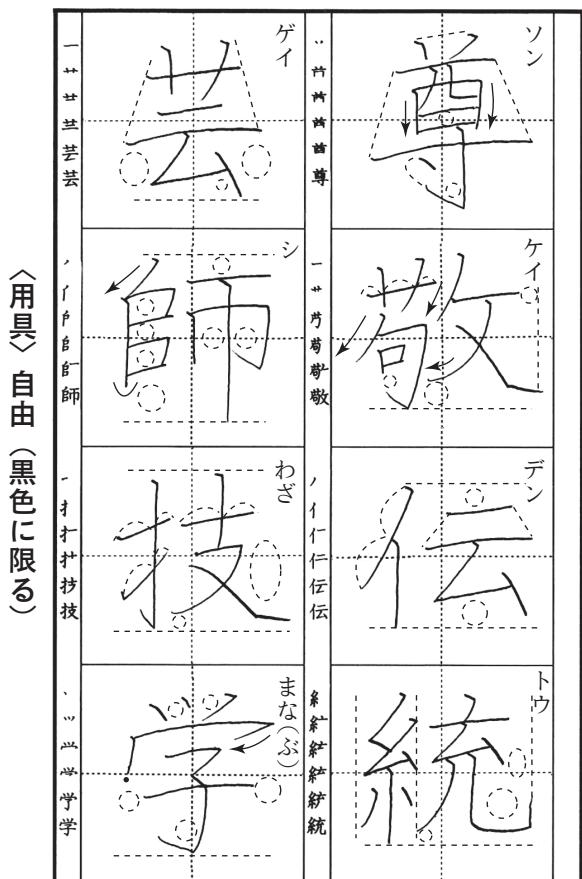
解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

演	集	市
を	ま	民
聞	つ	会
い	て	館
た	講	に

教育部硬筆課題

しめきり 2月19日(必着)



解説 (よく見て習いましょう)

ら	統	尊
技	工	敬
を	芸	す
学	師	る
ふ	か	伝

小六年 (全員)

小六年

(全員)

応	来	予
変	事	想
に	は	外
対	臨	の
処	機	出

中二・三年 (行書)

中二・三年 (行書)

い	集	祖
記	め	父
念	た	が
硬	珍	長
貸	い	年

中一年 (行書)

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題

出 い 井 美 華 書

魚	ニ	一	う	
に	ヤ	日	ち	
目	ー	中	の	
を	と	の	ね	
光	鳴	ん	こ	は
ら	い	び		
せ	て	り		
る				

◎お手本はえんぴつ使用

- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
 - 二、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
 - 三、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
 - 四、用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
 - 五、成績は評価により毎月変わります。
 - 六、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



しめきり 2月 19日（必着）

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

まし猿 づめ爪 静 こう光 書

冬	繆	熱	風	世
の	り	い	に	界
五	広	戦	は	各
輪	げ	い	た	国
	ら	か	め	の
	れ	き	旗	旗
	る			か

◎お手本はつけペン使用



